

平成19年度第4回（第178回）備中地区司書部会議事録

日 時：平成19年12月11日（火） 10:00～16:00

場 所：岡山県立図書館

参加人数：21名

司会進行：午前 川上 倫代（玉島）、午後 二部野 陽子（倉敷南）

記 録：島津屋 護（総社南）、二部野 陽子（倉敷南）

***** 午前は備前・美作支部との合同研修 *****

1. 開会

- ・資料の確認

2. 講演「新教育基本法と学校図書館のかかわりについて」岡山県立玉野光南高等学校 村田秀石先生

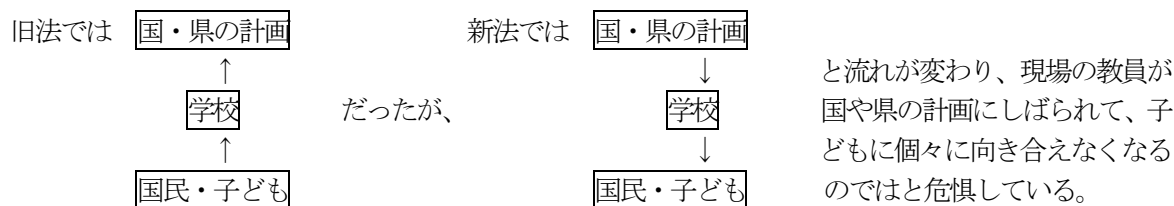
教育基本法の改正で注目したいのは次の2点である。

①「教育の目標」と「教育振興基本計画」を新設。

…旧教育基本法では「教育の目標」はあえて書き記さなかった。二度と戦争を起こさないために国からの押し付けをさけた。

②教育の規制緩和と個人の「自立」を強調。

…9年という義務教育の年限を削除し、義務教育の実施について新たに国や地方公共団体の責務などを規定。個人の選択の幅が広がる点を強調。それに伴う責任は個人が追うようになる。



こうした教育行政の動きは学校図書館にも影響している。教育基本法改正前に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」は新教育基本法の考え方を先取りしていて、国や自治体そして保護者の役割を示し、読書を通じて **計画** → **目標** → **押しつけ** をしようとしている。

教育条件は記せばいいが、教育内容にあまりふれすぎると現場にいる教員は子どもに個々に向き合えなくなる。教育を受けるのは子どもであるということを忘れてはならない。

***** 午後は備中支部での研修 *****

3. その他

- ・平成20年度岡山県学校司書研修会（倉敷大会）について
資料研究班とレイアウト班の発表者について（仮）決定が必要なこと
大会役員名簿（案）についての確認と次回実行委員会の予定について

4. 研修

(1) グループ別研修

A) 資料研究班

- ・「今日はあの人の誕生日。だから…」をテーマに、各自関係ありそうな図書の表紙をカラーコピーして持参し、その展示方法を検討。
- ・NDC順に時計回り、キーワード別で検討し、よりわかりやすかったため後者で仮製作。

・よりわかりやすい展示方法の工夫、集めたけれど使わなかった9類図書の活用方法、この展示の効果を検証する方法等が今後の課題。

B) 引き継ぎ研究班

①基本ワークシートグループ

- ・各校の3、4月の月間スケジュールと年間スケジュールについて検討した。
- ・次回は4月に行う仕事のうち、それぞれ決めた部分について詳細な引き継ぎ書を持ち寄り、模擬引き継ぎを予定している。

②事務室兼務グループ

- ・引き継ぎ書の項目表をもとに、各校で引き継ぎ書を作成（途中まででも可）し、持ち寄った。
- ・作ってみての感想などを意見交換し、それぞれの書式なども参考にした。
- ・次回は引き継ぎ書を完成させてくる予定。

C) レイアウト研究班

- ・倉敷大会の発表者は総社南で決定。
- ・発表の内容をどういったものにするかを話し合い、資料の別置の種類や効果を調査することになった。
- ・具体的には別置についてのアンケート（各校での別置の数や内容、その有効性など）の統計・分析や、別置してある参考図書や新書の混配、逆に混配してある新書の別置などで利用の変化を見る実践も交え、コーナー（別置）の見直しを求める。年明けくらいにアンケートを依頼する予定。

(2) 資料研究「わたしがすすめるこの一冊」

次回テーマは「ケータイ小説の次に読ませたい本」+フリーテーマに決定